

平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 メディアスホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3154 URL <http://www.medius.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池谷 保彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理統括本部長 (氏名) 野中 治男

TEL 03-3242-3154

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第2四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	70,664	5.4	607	△23.0	806	△15.0	461	△7.2
25年6月期第2四半期	67,055	7.1	788	117.0	949	90.7	497	179.0

(注) 包括利益 26年6月期第2四半期 458百万円 (△11.0%) 25年6月期第2四半期 514百万円 (310.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第2四半期	158.87	—
25年6月期第2四半期	174.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第2四半期	49,091	6,860	14.0
25年6月期	40,180	6,462	16.1

(参考) 自己資本 26年6月期第2四半期 6,860百万円 25年6月期 6,462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	75.00	75.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,500	6.3	1,410	3.8	1,750	1.8	950	6.0	327.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社秋田医科器械店 、 除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期2Q	3,031,356 株	25年6月期	3,031,356 株
② 期末自己株式数	26年6月期2Q	127,449 株	25年6月期	184,329 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期2Q	2,903,597 株	25年6月期2Q	2,849,887 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大企業を中心に企業収益が改善してきており、年度末にかけては消費税率引き上げによる駆け込み需要が加速することが見込まれている一方、円安によるエネルギー価格の上昇に加え、幅広い原材料の値上がりを価格転嫁する動きが出始めております。

医療業界におきましては、平成26年度の診療報酬改定は、医師の人件費などに当たる「診療報酬本体」を、0.73%引き上げることとなりましたが、この0.73%には消費税率引き上げによる医療機関の負担増への対応分0.63%が含まれているため、実質上の引き上げ幅は0.1%となりました。一方、薬価・医療材料は0.63%引き下げることとなり、消費税率引き上げ対応分の0.73%を差し引くと実質の引き下げ幅は1.36%で、これに本体を合わせた診療報酬全体(ネット)では1.26%マイナスとなることが決められております。

当社グループが属する医療機器販売業界におきましては、医療材料の償還価格の引き下げによる販売価格の下落や医療機関からの更なる値下げ要求、また病院経営コンサルタント業者の介入による利益率の低下が生じており、医療機器ディーラーを取り巻く経営環境は厳しさを増しております。医療機関からは物品管理、保守管理や業務管理等の役務提供を含めた複合的なサービスの要請が増加しており、医療機器ディーラーは医療機関の経営改善に應えるための各種サービスの提供や、経営の効率化並びにコスト削減に対する施策が不可欠であり、今後は業界再編が加速することが予想されます。

このような経営環境の下、当社グループは「地域医療への貢献」を経営理念に掲げ、取引先医療機関への医療機器・医療材料の提供のみならず、手術室業務支援ソフトウェア「サージレーン」や医療材料データベース・医療材料分析サービス「メッカル」の提案等、医療機関の経営改善に繋がる複合的なサービスの推進、最新の医療情報の提供を通じた高付加価値商品の提案営業に努めました。また、首都圏エリアにおける営業推進体制の強化に引き続き注力し、新規取引先獲得のための企画提案力や競争力の向上に取り組むとともに、平成25年7月に取得した株式会社秋田医科器械店におきましても、秋田県内の地域医療に貢献するため企画提案型の営業活動を進め、事業領域の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は70,664百万円(前年同四半期比5.4%増)、営業利益は607百万円(同23.0%減)、経常利益は806百万円(同15.0%減)、四半期純利益は461百万円(同7.2%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

①医療機器販売事業

医療機器販売事業では放射線機器や内視鏡等診断機器の備品販売が好調に推移し、消耗品については、循環器関連商品は償還価格の引き下げによる納入価格の低下の影響がありましたが、その他分野における消耗品は提案型営業の推進効果もあり、新規取引の獲得が進みました。この結果、売上高は68,999百万円(前年同四半期比5.6%増)となりました。利益面では、内視鏡等診断機器の備品販売において利益が確保できたことに加え、消耗品について償還価格の引き下げによる影響や医療機関からの値下げ要求がありましたが、新規取扱商品の販売増加による利益の獲得により、売上総利益は6,537百万円(同3.6%増)となりました。

またセグメント利益(営業利益)は、2,211百万円(同3.4%増)となりました。

②介護・福祉事業

介護・福祉事業では、個人向け介護機器のレンタルは堅調に推移しましたが、介護・福祉機器の販売は低調となりました。この結果、売上高は1,665百万円(前年同四半期比2.5%減)、売上総利益は668百万円(同0.6%減)となりました。

またセグメント利益(営業利益)は、171百万円(同18.2%減)となりました。

(注)当社グループのセグメントは、次のとおりであります。

医療機器販売事業……(医療機器販売事業)

国内の医療機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた医療機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設に販売しており、当社グループの基幹となる事業であります。

(医療機器の修理及びメンテナンス事業)

当社グループが病院等医療施設に販売した医療機器の修理及びアフターサービス、病院等医療施設との保守契約に基づく医療機器全般のメンテナンスを行っております。

介護・福祉事業……国内の介護福祉機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた介護福祉機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設及び一般個人に販売しております。また、介護福祉機器の一般個人へのレンタルを行っております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して22.2%増加し、49,091百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して25.5%増加し、41,898百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2,762百万円、受取手形及び売掛金が4,555百万円、商品及び製品が1,031百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して6.0%増加し、7,193百万円となりました。これは主に、有形固定資産が72百万円、無形固定資産が135百万円、投資その他の資産が199百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して25.3%増加し、42,230百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して30.1%増加し、38,781百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が4,387百万円、短期借入金が4,828百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して11.7%減少し、3,449百万円となりました。これは主に、長期借入金622百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して6.2%増加し、6,860百万円となりました。これは主に、資本剰余金が80百万円、利益剰余金が247百万円それぞれ増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して3,185百万円増加し、6,203百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、759百万円の支出(前年同期は1,644百万円の支出)となりました。

主な要因としましては、税金等調整前四半期純利益851百万円、仕入債務の増加額3,629百万円等の収入要因に対し、売上債権の増加額3,973百万円、たな卸資産の増加額859百万円、法人税等の支払額539百万円等の支出要因が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、163百万円の収入(前年同期は583百万円の支出)となりました。

主な要因としましては、定期預金の払戻による収入604百万円等の収入要因に対し、定期預金の預入による支出126百万円、関係会社株式の取得による支出100百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出147百万円、長期前払費用の取得による支出102百万円等の支出要因が下回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,782百万円の収入(前年同期は2,237百万円の収入)となりました。

主な要因としましては、短期借入金の純増額4,970百万円等の収入要因に対し、長期借入金の返済による支出1,245百万円等の支出要因が下回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、平成26年2月4日に修正しております。詳細につきましては、平成26年2月4日に公表しました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成26年6月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年8月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した、株式会社秋田医科器械店を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,480,682	6,243,604
受取手形及び売掛金	23,865,806	28,421,209
商品及び製品	4,703,725	5,734,786
原材料及び貯蔵品	7,944	10,769
その他	1,350,828	1,503,059
貸倒引当金	△13,372	△15,241
流動資産合計	33,395,614	41,898,187
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	987,735	985,422
土地	1,620,849	1,660,324
その他(純額)	261,377	296,749
有形固定資産合計	2,869,962	2,942,497
無形固定資産		
のれん	509,041	676,681
その他	456,263	424,391
無形固定資産合計	965,304	1,101,072
投資その他の資産		
その他	3,016,216	3,215,775
貸倒引当金	△66,166	△65,951
投資その他の資産合計	2,950,050	3,149,823
固定資産合計	6,785,316	7,193,393
資産合計	40,180,931	49,091,580

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,273,856	29,660,932
短期借入金	2,701,776	7,529,841
未払法人税等	466,650	335,518
その他	1,367,903	1,255,391
流動負債合計	29,810,187	38,781,683
固定負債		
長期借入金	2,906,038	2,283,573
退職給付引当金	580,355	602,119
資産除去債務	15,608	15,714
その他	406,064	547,813
固定負債合計	3,908,066	3,449,219
負債合計	33,718,254	42,230,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,862	1,018,862
資本剰余金	885,566	965,579
利益剰余金	4,415,281	4,663,075
自己株式	△238,779	△165,272
株主資本合計	6,080,931	6,482,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	381,746	378,433
その他の包括利益累計額合計	381,746	378,433
純資産合計	6,462,677	6,860,677
負債純資産合計	40,180,931	49,091,580

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
売上高	67,055,529	70,664,739
売上原価	60,072,251	63,458,587
売上総利益	6,983,278	7,206,151
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	2,584,454	2,687,659
従業員賞与	713,721	730,881
退職給付費用	111,597	124,434
法定福利費	480,470	515,821
減価償却費	225,241	166,968
賃借料	460,592	447,714
業務委託費	403,495	479,179
貸倒引当金繰入額	1,927	—
その他	1,212,885	1,446,408
販売費及び一般管理費合計	6,194,387	6,599,069
営業利益	788,890	607,082
営業外収益		
受取利息	1,908	1,605
受取配当金	4,772	5,099
仕入割引	168,994	179,892
その他	38,306	59,740
営業外収益合計	213,982	246,338
営業外費用		
支払利息	49,568	42,103
その他	3,646	4,387
営業外費用合計	53,215	46,491
経常利益	949,657	806,929
特別利益		
固定資産売却益	—	3,051
投資有価証券売却益	—	45,052
特別利益合計	—	48,104
特別損失		
固定資産除却損	884	3,819
減損損失	22,917	—
特別損失合計	23,801	3,819
税金等調整前四半期純利益	925,856	851,214
法人税、住民税及び事業税	402,425	344,144
法人税等調整額	26,179	45,749
法人税等合計	428,604	389,893
少数株主損益調整前四半期純利益	497,251	461,320
四半期純利益	497,251	461,320

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	497,251	461,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,373	△3,313
その他の包括利益合計	17,373	△3,313
四半期包括利益	514,625	458,007
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	514,625	458,007

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	925,856	851,214
減価償却費	329,245	292,895
のれん償却額	127,510	157,358
減損損失	22,917	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	23,640	21,763
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,114	△3,048
受取利息及び受取配当金	△6,681	△6,704
支払利息	49,568	42,103
固定資産売却損益 (△は益)	—	△3,051
固定資産除却損	884	3,819
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△45,052
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,835,697	△3,973,070
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△116,020	△859,087
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△156,118	△198,778
仕入債務の増減額 (△は減少)	△345,578	3,629,783
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△24,375	△79,601
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△80,875	△115,102
その他	13,989	13,278
小計	△1,077,848	△271,280
利息及び配当金の受取額	7,233	6,905
利息の支払額	△51,892	△43,140
法人税等の支払額	△551,496	△539,175
法人税等の還付額	29,156	87,057
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,644,848	△759,634
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△224,464	△126,220
定期預金の払戻による収入	214,464	604,576
有形固定資産の取得による支出	△53,192	△79,616
有形固定資産の売却による収入	73	2,621
有形固定資産の除却による支出	△221	△611
無形固定資産の取得による支出	△101,172	△23,174
投資有価証券の取得による支出	△10,234	△21,783
投資有価証券の売却による収入	—	139,411
関係会社株式の取得による支出	△330,800	△100,806
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△147,350
貸付金の回収による収入	9,573	41,917
長期前払費用の取得による支出	△153,700	△102,423
敷金及び保証金の差入による支出	△61,126	△17,513
敷金及び保証金の回収による収入	135,618	7,754
保険積立金の積立による支出	△12,650	△12,787
その他	4,688	△959
投資活動によるキャッシュ・フロー	△583,143	163,034

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,934,825	4,970,908
長期借入れによる収入	500,000	290,000
長期借入金の返済による支出	△1,018,596	△1,245,308
自己株式の取得による支出	△46,686	—
リース債務の返済による支出	△17,967	△19,988
配当金の支払額	△114,261	△213,096
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,237,313	3,782,515
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		
現金及び現金同等物の期首残高	5,737,260	3,017,552
会社分割に伴う現金及び現金同等物の減少額	△50,000	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,696,582	6,203,468

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	65,348,031	1,707,497	67,055,529	—	67,055,529
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	65,348,031	1,707,497	67,055,529	—	67,055,529
セグメント利益	2,138,116	209,184	2,347,300	△1,558,409	788,890

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,558,409千円には、のれん償却額△127,510千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,430,899千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「介護・福祉事業」セグメントにおいて、取壊しの意思決定を行った建物等につき、帳簿価格を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては22,917千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	68,999,459	1,665,279	70,664,739	—	70,664,739
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	68,999,459	1,665,279	70,664,739	—	70,664,739
セグメント利益	2,211,253	171,095	2,382,348	△1,775,266	607,082

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,775,266千円には、のれん償却額△157,358千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,617,907千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメントの区分の変更)

当社グループは従来、報告セグメントを「医療機器販売事業」及び「その他の事業」の2区分としていましたが、「その他の事業」を構成している「医療機器の修理及びメンテナンス事業」の業務が「医療機器販売事業」に付帯する要素が年々高まってきたこと、「その他の事業」を構成しているもう一つの「介護・福祉事業」の量的な重要性が増してきたことを踏まえ、「医療機器の修理及びメンテナンス事業」を「医療機器販売事業」に含めることとし、「介護・福祉事業」を単独の報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。